

令和7年度 志教育全体計画

【校訓】 自律 和敬

宮城県仙台向山高等学校

教育目標

豊かな人間性を備え、創造力に富む徳性の高い人材を育てて、生徒一人ひとりの能力を伸ばし、生徒が自己実現できるような学校づくりを目指す。

- 1)「自律・和敬」の精神を重んじ、個性と創造性豊かな人間を育てる。
- 2)意欲的に学習する習慣を養い、知性と教養の豊かな人間を育てる。
- 3)自己の言動に責任を持ち、他を思いやり協力する心の豊かな人間を育てる。
- 4)心と体の健康を増進し、たくましく生き抜く実践力豊かな人間を育てる。

知性・教養の豊かさ
(知識・理解)
受け取る力・伝える力

心の豊かさ
(学びに向かう力),
より高みを目指す力

実践力の豊かさ
(思考・判断・表現)
考える力・見通す力・生み出す力

理想とする生徒像

- ☆ 学びの過程で将来との関連性見いだすことのできる生徒
- ☆ 学びに対する興味関心の高い生徒
- ☆ 高い自己有用感を有し、有益な人間関係を形成できる生徒

保護者・地域の思い

- ☆ 地域社会へ積極的に貢献してほしい
- ☆ 自らの将来を真摯に考え、その希望する進路を達成してほしい
- ☆ 自らの価値を見いだし、高い自己有用感を持ってほしい

【志教育の目標】 実現力の獲得をとおして、未来を切り拓く人材の育成

重点指導事項

人と「かかわる」

- ☆ 共に学び、経験する学びを通して自ら探究し、発信する力の育成
- ☆ 対話の力、コミュニケーションの力を育てる活動の充実

よりよい生き方を「もとめる」

- ☆ 自ら見通し、主体的に自己実現する力の育成
- ☆ 学習と社会を関連付け、未来に踏み出す力の育成
- ☆ 自ら考え、行動する自立した学習者の育成

社会での役割を「はたす」

- ☆ 自己理解を深め、社会や集団における自己の役割を考え、行動する力の育成

対話的な学びの実現

自立した学習者の育成

自己理解の深化

- 生徒が対話し、協働的に活動する場面を計画的に組み立てた探究活動を通して高い課題解決能力の習得を図る
- 自ら考え、他者と協働する力を育成するガイドンス機能をカリキュラムに備え、かつ効果的に運用する。

- 自分と学問や社会とのつながりを自覚し、主体的に学習する力を育む
- 質の高い日々の学びを通して、自己の未来を主体的に築く力を育む
- 体系的な学習活動を通して、活用できる学力の蓄積を育む

- 自己理解を深め、自己の望ましい在り方を主体的に考察する道徳教育を基盤とした活動を推進する
- キャリアカウンセリングを軸に、一人ひとりに対応した相談体制を構築する

向陵オープンセミナー

各教育活動における取組の観点

各教科	日々の学習活動において、生徒の探究的な活動場面を設定することで、主体的で計画的な学習姿勢を育み、高い課題解決能力の獲得を促すとともに、質の高い日々の学びを通して、自らが実現を目指す未来とを総合する力を育む。
道徳	自分自身が他の人と代わることのできない唯一無二の存在として、自らを肯定的に捉えられるように促す。他と協調しつつ、自立した主体として活動できるよう促す。
特別活動	ホームルーム活動への積極的な参加や学校行事の企画・運営を通して、目標に向かって協働し、主体的・対話的に課題解決できるよう促す。このような経験を積ませることにより、知性・教養の豊かさ、心の豊かさ、実践力の豊かさを育む。

各学年の取組内容

総合的な探究の時間	一学年	自分の興味・関心と出会う・育てる ビブリオバトル、プレゼンレッスン、オータムセミナー、ブックトークなどの活動を通じて、自己の興味・関心や適性について考え、自己理解を深める。
	二学年	自分の興味・関心を育て、学問とつながる グループブックトーク、アカデミックインターンシップ、グループ発表、個人レポート作成等の探究活動を通じて、大学における学問とは何か、そこで何を学ぶのかについて考察する。
	三学年	育んだ興味・関心をもとに未来への一歩を踏み出す パーソナルプレゼンテーション(個人探究・発表)などの活動を通じて、将来、自分が社会人としてどのように社会に貢献していくかを考察する。

家庭との連携

広報活動や学校行事・学校公開などを通して、学校の教育活動を理解してもらうとともに、保護者の職業観や勤労観、人生観などについて協力を得て、教育活動に還元する。

地域・企業との協働

1年次のオータムセミナーや2年次のアカデミックインターンシップ、3年次のパーソナルプレゼンテーション、向山小学校との連携「小学校インターンシップ」などの各教育活動を通して、積極的に地域の小・中学校や地域産業、大学との連携を図る。